學園新聞
発行所
京都大學新聞社
京都市左京区吉田町
京都大學構内
振替口座京都3909番
電話吉田⑦41110―9番
編集兼発行人 梶浦幹生

ペン先の乾かぬ
マヂックフィード
セーラー万年筆

## 京大文化祭幕閉ず

十四日、吉田分校における前夜祭、ファイヤー・ストームに始まる京大秋季文化祭は、四日間にわたり一万の人を数えた。最初予算問題をめぐって各団体、サークルの代表者からなる準備会と学校側との交渉は、かなり難航をつゞけ、準備会の要求額七十万円は七分の一に削られたが、内容は春の文化祭よりもはるかに充実しているとの声が多く、今月下旬の演劇関係の催しでその幕を閉じようとしている。

★　★

## 人氣集めた似顔繪書き

### 子供文化祭・全学音楽会も成功

全部で十六の展示会は一般的に好評で、西部構内の朝鮮展（朝研）中日貿易展（松井ゼミ）ソビエト展（ソ研）住宅難展（NAU）漫画展（マンガ集団）などはとくに人気を集めたが、展示物の配列、用語の未消化、文字の多さなどの点で、せっかくの貴重な資料が十分に活用されず、全般的には展示会としての効果をあげる工夫に欠けるところがあった。

朝鮮展を熱心に観ていたサラリーマン風の人と高校生はそれぞれ「よく研究しています。朝鮮戦は動かし難い事実だと感じます」「もっと一般に市内を巡回展示して欲しい」との意見をのべ、ソビエト展では「ソ連はアメリカに負けない国ですね、私達は一方的なことだけしか知らないのですね」という母と娘があったが、後で「思想の面ではわからないこともあります」とつけ加えた。

プログラムの裏に即席、似顔絵を描くという試みで大人気を呼んだ漫画展は、連日朗らかな笑い声にあふれ、四日間で約千の似顔絵を描いたという。

キャラバンの原爆展は各方面へ資料を貸していたため、昨夏の丸物におけるものには、はるかにおよばない貧弱なものになったが、それでも「国際管理の問題など政治的な面も取り扱っていて、今東京で流行のアサヒグラフの切抜き展よりずっと勉強になる」（東大生）「改めてアメリカの身勝手さに腹が立つ、国連も頼りないし若い学生に平和の努力をしてくれと期待するほかない」（二商人）など積極的な意見があり、カンパも寄せられた。

理学部地質学教室前には、実物大の恐龍の模型がつくられ子供たちの人気を集めたが、物理学教室が教授、学生協同で原爆の説明など大学の研究をわかり易く発表したのに、地理的な悪条件からか人足が閑散だったのは惜しまれる。

十六日、新徳館で開かれた児童文化研究会の「子供文化祭」には子供を守る会と提携して、人形劇、童話、幻燈などで約三百のよい子たちを喜ばせていた。

学内の隠れた音楽家たちと、京大コーラス、職員コーラスなどの参加で、のべ約千二百の聴衆を集めたディスク・サークル主催の「全学音楽祭」の新しい意義は十分評価されてよいようだ。

教育学部自治会主催の近江学園の特異児童が演ずる劇は多数の観客を感動させ、五つの講演会にも熱心な聴衆がつめかけた。各種の催しの中で、大ホールを始め、各会場の不備や、全学自治組織の必要性は強く感じられていたようである。

写真は（上）教育心理実験のテープレコーダー（中）理学部地質教室の恐龍（下）漫画展の似顔画描き

### 八百名上回る

### 盛況だった宇治文化祭

本学文化祭にひきつゞいて宇治分校でも去る十九日に秋季文化祭が行われ、多彩な催しが繰り拡げられた。この日当初予想されていた観客動員数も予想をはるかに上回って、常に三百ないし五百の人数を、大きく二分された会場に集めることができて関係者を一安心させたが、延動員数は常時校数の八百を上回ったものとみられている。

この日第一会場にあてられた新設講堂では、京大吉川幸次郎教授、除村吉太郎、赤木健介氏などの講演をはじめ、各文化団体の研究発表、民科のシュプレヒコールなどが行われ、映画「白毛女」を最後に幕をとじた。また第二会場のグラウンドでは体育祭として、今月初旬から始められていた各クラス対抗排技大会の決勝戦が行われ、日没後映画と平行したファイヤー・ストームで一日の幕を閉じた。

この文化祭には教官も多数出席、野球に並川主事の始球式、木村副主事の審判が現れるなど、学生とまじりあってなごやかな気分をかもしだしていた。

## 24時間前に許可必要

### 京大学内集会規定改正さる

十一月四日の京大評議会は学内集会規定の一部改正を決定した。これによれば今後学内集会には、集会の二十四時間前までに学生部あるいは事務局を通じて学長の許可を必要とすることになった。

これまでの集会規定によると、学内者のみの集会、卒業生懇談会、学会、映画会、音楽会などは集会の三日前、そのほか学外者の参加する場合は特別の詮議をするため五日前に集会願を提出すればよく許可については明記してなかった。今回の改正はこの点で実質的には許可を必要としていても、規定上はたんなる届出制とも解釈できる曖昧さをなくしたものである。

また二十四時間前と明確に時間まで規定したことについては、集会規定が施行された昨年三月以来、許可、不許可をめぐって集会の時直前まで、集会責任者と学生部の紛争が続くことが度重なるので、事務手続上規定されたものだと学生部では語っている。

## “特奨”の枠を移行か

### 奨学金問題見通したたず

**新制大学院**

新制大学院問題は新内閣の教育行政の未確定と、二十八年度予算案内示もないため行き悩みの形だが日本育英会では新制大学院の奨学生の問題もまだ何ら成案をえていない模様であるが、現在までの動きから、現行の特別奨学生（月額四千円を貸与）の枠を、そのまま新制大学院学生へ移すのではないかと観測されている。

京大では特奨を受けている九十数名は、ほとんど旧制大学院学生であるが、旧制大学院のない大学にもこの枠が設けられており、新制大の本科生も貸与をうけている。そこでもし特奨の枠を大学院に移すとすると、次の二つの点が問題となってくるものと思われる。

一、新制大学から枠がとりあげられるため、大学院をもたない新制大をどうするかという問題。

一、明年春の二重卒業により、明年度から一般に奨学会の枠が楽になるとしても、新制大学院の学生数に比べて奨学生の範囲が小さいこと。

厚生課でも再三文部省、育英会へ陳情を行っているが見通しはまだついていないようだ。

## 身分改善等を要望

### 法令文等の臨編入生

京大法学部臨時編入生三十余名は十三日臨編生大会を開催、臨編生が旧制と変りない教育を受けているにもかかわらず、旧制度の廃止という占領政策の犠牲となり、旧制が当然廃止される前提条件のもとに臨編の待遇に甘んじてきたが、旧制で卒業できない者の処置がくすぶっている現在、臨編生の待遇について再検討を要望。六名の委員を選出、文部省、大学当局に積極的に働きかけることを決議した。

現在臨編生は全学で三四一名おり、卒業資格は新制卒業者と同等であり、したがって教員資格なども教職単位を取得せねばならない。また一般社会の評価も旧制の実力にもかかわらず新制並に待遇され、あと二年余す臨編生の問題として、文学部（五七名）工学部（四五名）でも具体的に動こうとしており今後の動きが注目される。

## 末川立大総長の還暦祝賀祭

立命大では末川総長の還暦祝賀祭を計画し、十一月十三日グランド会館か、立命高校講堂で南原繁、恒藤恭両氏を招いて講演会を、十一日には大学院二階で前夜祭を開く予定である。

## 寮新築に着工

**宇治分校**

明年三月完成の予定で夏休み前から計画されていた宇治分校学生寮新築は、その後文部省学生課などの意見をとり入れて設計変更を行い、さる十七日入札、双葉建設が落札、翌十八日から工事にとりかかった。

12月2、3日(火、水)　西部講堂
大音樂映画　ロードショウ上映
カーネギー・ホール Carnegie Haee
ワルター、ストコフスキー、トスカニーニ、ロジンスキー指揮、紐育フィルハーモニー、ハイフェッツ、ピアティゴルスキー、リリー・ポンス・エッツィオ・ピンザ、ハリー・ジェームス、その他演奏
一般60円・会費40円のところ
前売40円券　発賣中
於映画部・地下プレガイド

## 厚生課　市電定期値下げに動く

## 市内各大学に呼びかけ

### 中高校生なみの料金に

十四日愛知学芸大で開かれた学生アルバイト対策協議会に出席した角南京大厚生課長は、六大都市の市、都電学生定期券値下げ運動を提案した。この提案は会議日程がぼう大だったため充分討議されず、全国各大学の支援をうるにいたらなかったが厚生課では市内各大学に呼びかけて京都地区だけでも運動を開始しようと準備を進めている。

市、都電の運賃については六大都市の協定により決定されることになっているが大学生の通学定期については、大阪は高校中学並みの一ヵ月二百五十円、京都は通学定期甲（大学）三百五十円、通学定期乙（中学高校）二百五十円となっており、京都でも通学定期甲を通学定期乙並みの二百五十円まで引き下げようとするものである。

厚生課では京都市内の大学生四万一千名のうち、市電を利用して通学しているもの一万名、そのうち京大生三千名と推定し定期の百円あるいは五十円値下は、京大全体では三十万円となり、ないし十五万円学生の経済生活に大きくプラスするものだと考えている。

**角南厚生課長談**　交通費は現在の学生生活で、食費、住居費について大きな地位を占めていると思われ、大阪並みに値下げになれば、学生生活に大きくプラスするだろう。現在のところ独立採算制をとる市交通局の赤字の点でデッド・ロックに乗りあげているが、何とかしたいと考えている。

## 健保　千廿五名で発足

### 国庫補助獲得　全学加入へ

京大健保組合は十四日二十七年度の加入受付けを締め切り、期待された健保は一〇二五名で成立発足した。同組合設立運動者は、加入組合員の意見を組合に反映させる機関として厚生問題協議会を構成するべく運動する一方、健保扶助の国庫負担は京大単独の問題としては解決できないとして、国庫負担を全国的運動に展開するため全国各大学の健保状況の調査と同運動の組織化調査を決定した。なお組合としては全学加入の実現のためすでに全学加入の実施をみている九州大、山梨大の実状を調査しつゝ、全学加入の実現をみた時の会計補助を計画要請する。

**健保設立関係者談**　当初予想した二千名には及ばなかったが、運営可能の組合員には達した。さらに全学加入を目標として、国庫負担などの要請をし、来年度には完全なものとして運営したい。全学の諸君も常に組合に関心を持ってほしい。

## 国際学連のサナトリウム設計に應募

京大NAU（新日本建築家集団）では、明年一月プラーグで行われる国際学連学生結核サナトリウムの協議設計審査に応募するため、文化祭終了後演習の課題の一環として一般生に応募設計を進めるよう呼びかけることになった。この協議設計については本年九月国際学連から全学連にあて、建築学生からその設計を懸賞募集するよう通知があったもので、これにもとづいて東京芸術大、東京工大建築科などでは、国際学連学生結核サナトリウム応募委員会を作り、全国建築学生に呼びかけていた。京大NAUでは十月中旬この通知を受けたが、文化祭準備に忙殺されていたためこれについて協議できず、文化祭終了を待って積極的に活動を開始することになったもの。なお東京の応募委員会では、プラーグの審査が終っても組織を解散せず、日本国内で広く資金を募って日本独自の学生サナトリウムを作るため、具体的な活動を続ける予定である。

## 経百%採用の見通し

### 堀江教授　就職の予想を語る

財界の不況を反映して各校とも就職不振をかこっているが、京大経済学部では十一月十五日までの求人申込件数一八五、そのうち十七件は学生の求職志望者が一名もなかった。現在までに就職の決定したもの二二〇名、堀江保蔵教授は経済学部の就職見通しについて「百%就職できるだろう」と次のように語っている。

初めの見通しとしては経済学部卒業生新旧あわせて五百名のところ、学校を通じての就職者三百名、プライベイトな方法で百名、大学院進学五〇名として、残り五〇名が卒業後の方向に迷うのではないかと思っていたが、十一月中旬で二一〇名が決定しているなら来春卒業までには三五〇名は学校を通じて決定できる見通しをもてる。そうすると個人的な方法で百名が動かないとすると、経済学部では卒業までに大体百%就職とみてさしつかえないだろう。会社側に働きかけることも心掛けてはいるが、会社と学生の気持が一致した時でないといくら教授が動いても無駄になるから、当分静観するつもりだ。

## 業界から70名出席？

### 文部省主催で就職協議会

既報の地区別学生就職問題連絡協議会は主催者文部省がいよいよ本腰を入れ、京都地区では十二月一日、京大が会場校となって、京都府、滋賀、福井両県の業界代表、主要事業主、大学就職関係係官を集めて開かれ、頭打ちの窮状を訴え中小企業の積極的受入れを要望することになった。

文部省は京都地区協議会には約百四十名が出席、その半数が求人を希望、あるいは求人開拓の可能性ある業者と見込んでおり文部省から係官を派遣一人あたり五十円程度の弁当代を用意しているようである。

厚生課では京都商工会議所などと連絡をとり準備を進めているが、阪神地区を除いた京都、滋賀、福井の中小企業には京大としては期待できないとして、阪神地区業者への呼びかけを考えている。

## 経済は四八%

**神大**

神大では夏休みから教官を動員して全国有力会社へ学部紹介の全国遊説をやった甲斐あって、十月末現在ですでに各学部平均三割という好成績をあげている。学部別に特色を拾うと、神経大の伝統を誇る旧制は地元神戸銀行、川崎製鉄を始めとして、求人申込み三一九社、決定一三二名、三割五分（以下同順）この調子では昨年同様百%就職できるとみられている。新制各学部では経済が三〇七社八〇名二割六分、見込み十割。

## スポーツだより

### 対東大戦復活か

**京大弓道部で計画すゝむ**

部員二十数名を抱える京大弓道部では、東大弓道部よりの申込みもあって、対東大戦を復活する計画をすゝめている。予算面の裏付けがないので早急の見通しはたたないが来年春には第一回戦を行う予定である。

## ☆週☆間☆暦☆

30日　成安会館で京大合唱団発表会。（四十円）

1日　成安会館で京大交響楽団第七十二回定期演奏会、交響曲第五番“新世界より”ドゥヴォルシャックほか。（六十円）

**学園評論**

## 危機に立つ自治会改選

……一……

京都大学の自治のうえにも幾度か“危機”が訪れた。天皇事件も一つの大きな試練であったし、火炎ビン事件も郷里にあって、おりからの夏休みをのんびり楽しんでいたわれわれ学生を驚きと「大学の自治」の現状にふと疑惑の目を向けたこともあった。

われわれは、幾度か訪れたこのような“危機”をのりこえて進んできたが、いまふたゝび「自治委員改選」という二つの“危機”に遭遇している。

日経連の声明以来、自治委員をやったものは一般会社に就職できない、という風評が一部学生の間に拡まった。そしてこのシーズンとほとんど前後して、後期の自治会改選が文学部で始まったのである。

……二……

現在のところ、わずかに、経同好会が期日を一度延期して選挙が完了しただけで、比較的強固な結束を見せていた文学部ですら、改選はしたものの定員に満たず、互選によって選出された委員は会議が召集されても集まらず、旧委員と新委員の有志によって学友会準備会を組織しなければならない状態である。

ロハデな動きを見せていた吉田分校自治会も定款によれば十月中旬に改選すべきはずなのに、選挙管理委員すら決定せず、自治委員長みずから個人的に頼みまわるという醜体を演じている。法自治会にいたってはボックスは綺麗に整理されて、ピンポン台が持ちこまれ有名無実に堕しきっており、改選など満足にできる力はとうてい持っているとは思えない。医学部はインターン問題で改選までに手がまわりきらず、理、農も文化祭に忙殺されて、具体的な動きはまだ見せていないようだ。

……三……

われわれはこの事実を見ると慄然とせざるをえない。このまゝでは京大の自治組織は外部の圧力に屈服するまえに内部から崩壊を招くであろう。この自治組織の弱体化ははたしてなにに起因しているだろうか。

……四……

自治会にたいするこの頃の一般学生の態度を「白々しい傍観者」ときめつけていたのを何かで読んだような気がする。この「白々しい傍観者」が何よりも自治会弱体化の最大の原因ではなかろうか。いわゆるアクティブ学生と一般学生との溝はこのごろいよ〳〵深くいよいよ広くなりつゝあるようだそしてこの自治会への背反者が全然悪意のない真面目な学生であることに、大きな問題を含んでいる。

……五……

この「白々しい傍観者」にならざるをえない一学生の悲痛な叫びとして、本紙十一月十七日号に掲載された「学生に与える」（朝日新聞）に反駁した下隈君の意見を、あらためてこゝに紹介してみよう。

「現代ほど巨大なメカニズムの支配する時代があったでしょうか。いまわれわれはこのメカニズムのなかで、がんじがらめに縛りつけられ、身動きできずに流されていることをひしひしと感じています。（中略）社会がわれわれのよいと思っている方向へ動いており、個人がわずかながら、それを推し進めることができるなら………（中略）こうして学生は社会から眼をそむけ、自己の内に沈潜して行きます」

しかし私は下隈君のこの非痛な叫びにたいして反問してみたい。下隈君はメカニズムにまきこまれぬことを「己を持す」ことと誤解しているのではなかろうか。「個人がわずかながらもそれを推し進めることができない」ということがどうして必然的に「自己の内に沈潜する」という結論が生れるのだろうか。下隈君は「悪しきメカニズム」にたいする反感から、メカニズム一般に感覚的に背をむけその結果、個人を過大に評価しているのではなかろうか。

……六……

自治会も一つのメカニズムであり、メカニズムの正当な力が発揮できず、自治委員の個人プレーに終っていたことが、今までの自治会や学生運動の最大の欠陥であったのではなかろうか。

排他的な英雄主義をすてゝ「メカニズムの傍観者」から「構成する一人」に飛躍することが唯一の自己を進む道であり、自治会の危機を救う道ではないだろうか。

「自己に沈潜する」ことが、メカニズムを蔑視したことが、過去の「青白い無力なインテリ」を作り出したことを、われわれは今思い出さなければならない。

## 京大人事往来

【叙任および辞令】大阪市大助教授早川幸男、湯川記念館委員会委員に、谷口吉彦、石川興二の両氏京都大学名誉教授に、鳥取大学助手手島三二、講師（理学部）に昇任

【学位授與】工学部（電気）教授松田長三郎「電弧放電及びその応用に関する研究」で、（工学部）機械助教授平修二（X-ray-Jurestigation the Failure of Metals）で工学部（燃化）助教授吉田哲夫「急冷却時の熱伝達の研究」でそれぞれ工学博士号を授与さる。経済学部教授出口勇蔵「経済学と歴史意識」で経済学博士号授与さる。

## 甲板

▼あたらしい祝日もむかしにくらべてはるかに民主的である。「紀元節」「天長節」「明治節」などといろ〳〵もったいをつけて国体の尊厳に感泣したような顔をしながら、その実、朝寝坊やアベックのプランを考えるより「文化の日」「成人の日」という名の休日で正々堂々（？）とリクリエーションをする方が正直であり、人間的である▼ところできのう十一月二十三日は「勤労感謝の日」だった。残念ながら日曜とかさなってしまったので、その有難味はさほどに感じなかったが、まことに記念すべき重大な日であったことにかわりはない。▼しかし「勤労感謝」ということの意味も難解である。これを古今東西の偉人に聞けば「ひたいに汗して勤労できることを感謝する意（トルストイ）」「ニコヨンでもバタ屋でも勤労すれば食えることに感謝すること（池田通産相）」「みなが勤労してくれるのでわれ〳〵は大いにもうけられることを感謝すること（ロックフェラー）」ということになりかねない。▼さてその「勤労」だが、これを「はたらくこと」と定義すると勤労所得税とは「お前はよくはたらいたからたくさん税金をかけてやる」ということになる。それではワリに合わないといってはたらかなければ干ボシ。どちらにころんでも有難くない。第一はたらきたくともはたらけない失業者は何に感謝したら良いのだろう。▼こういうヒガミ根性を是正するために「勤労感謝の日」を「労働尊重の日」とあらため、この日はお互いのはたらきを尊重し合う意味で、社長は給仕に、給仕は社長になり、失業者は映画でも乗物でも一さい無料としたらどうだろう。そしたら指折りかぞえてこの日の来るのを待ちのぞむ人がきっとたくさんいるにちがいない。▼おもえば何の日であろうと十一月二十三日は休日なのだからあれこれあげつらうのもはしたないわざであるが、ある人の息子さんが満十八になったら千年以上も前のニュールツクを着せられ、オシャモジみたいなものを持たせられて急に「御りりしく」「お立派に」ならせられる国がらだから、「勤労感謝の日」もマゴ〳〵すると「勤労奉仕の日」にかえられて竹ボーキでもかつがせられないともかぎらない。勤労感謝の日にあたっての偶感である。

世紀の巨篇、ついに邦譯なる
本書を讀まずして文学を語るな
社会主義リアリズム、勝利の里程標！

アラゴン著
レ・コミュニスト
小場瀬卓三・安東次男・小島輝正 共訳
アラゴン刊行委員会

革命と自由の国、正義と博愛の国、ナチスの占領下に苦悶する祖国フランス!! スペイン内乱の終末から、フランス解放に至る苦難のフランスの歩み、英雄的なレジスタンスを描いたこの小説は、ある批評家が適切に表現したように「フランス物語」とよばれるにふさわしい一大国民的叙事詩である。敵に通じ祖国を売る裏切者、その裏切りのために窮迫と圧制に呻吟する民衆、ふみにじられ、血をながしている祖国解放のために一身をなげうって戦う当代の英雄コミュニストたち――第二次大戦下にフランスがみずから体験したなまなましい現実が、百数十人の登場人物と重畳する事件とを通じて読者の前にくりひろげられ、壮麗的現実とアラゴンの創造的天才の造り出したフィクションの奔流に、われを忘れて運ばれる。ここに歴史と芸術、理論と現実とは一つに結び合わされ、その間に毛一筋ほどの隙もない。十九世紀以来つちかわれた心理分析に終始して来たロマンの行詰りを本書は打開して、個人を社会的現実に向って解放し新しいロマンの途を開いた。

全十巻
第一巻
ついに発賣なる!!
御申込次第 伝記無代進呈
B6版330頁
フランス美装
定価280円

民族革命の基本文献
すべての愛国者諸兄に
この三大選集をささぐ

毛沢東選集刊行会編訳
毛澤東選集
第一巻『井崗山の闘争』『湖南農民運動の視察報告』他
第二巻『日本帝国主義に反対する戦術について』『実践論』他
第三巻『矛盾論』『持久戦論』『自由主義に反対する』他
第四巻『民族戦争における中国共産党の地位』『新民主主義論』他
学習参考資料　毛沢東思想学習のために　これのみ価二四〇円
価各巻二八〇円

劉少奇著作集刊行会編訳
劉少奇著作集
全二巻
第一巻　第二回配本『敵の後方においてわれわれは何をやるか』『共産党員の修養を論ず』『人間の階級性』『党内闘争を論ず』他
第二巻　第一回配本『婦人活動の総括におけるいくつかの基本的認識』『党を論ず』『平山県の党風整頓・土地改革の経験例』他
価各巻二八〇円

金日成選集刊行委員会編訳
金日成選集
全三巻
第一巻　第二回配本　価二八〇円
八・一五解放以後の時期
第二巻　第一回配本　価二四〇円
祖国解放戦争の時期
補巻　十二月末発売!!　価二八〇円

ポリツェル著　陸井四郎訳
哲學入門
とてもわかりやすい哲学書!!
労働者のためにマルクス主義哲学を、とくに理論と実践の問題を掘りさげ平易に解明したもの。その解り易さは、日本においても類書をみないものである
価 260円

朝鮮歴史編纂委員会著
朝鮮民族解放闘争史
世界唯一つの正確な朝鮮史!!
古代朝鮮から説きおこし、日韓合併の真相、その後の朝鮮人民の日本帝国主義に対する英雄的なレジスタンスのありさまを描く。
価 380円

井上清著
日本女性史
毎日出版文化賞受賞
この本が、新しいニホンの、今日の婦人論として、新しい時代に生きようとするあらゆる人々によって手から手に読みつがれてほしい本である。
価 250円

アラゴン、フージュロン他多数執筆
絵画は何處へ行く
絵画の将来は？ 現代フランス画壇の精鋭三十余氏のアンケートを中心に展開された近代画論の一大集成！ 画論を喪失した日本画壇へ新風をおくる書!!
価 550円

京都左京局区内
振替京都六四〇三
東京神田神保町一ノ二
三一書房

# 孤立化する米國

## 米国内に国連無用論も

### "投票機械狂い逆にアメリカを牽制"

小林勇

アメリカは国連を恐れはじめている。

国連はアメリカ帝国主義の投票機械となってきたはずだ。アメリカはこの投票機械を利用することによって、自分の侵略行為を合法化してきた。星条旗とならんでひるがえる国連の旗ほどアメリカにとってありがたいものはなかったのだ。その国連をアメリカは恐れるようになってきた。かんじんの投票機械が狂いだし、アメリカの思うようには動かなくなってきたからである。

投票機械を狂わせたのは、ほかならぬアメリカ自身である。アメリカ帝国主義の軍事政策は同じ帝国主義諸国との対立を深め植民地や従属国の民族解放運動をたかめ、いわゆる第三勢力諸国家の離反を促している。こうした矛盾がそのまゝ国連に敏感に反映してきているのだ。その結果、アメリカは国連で孤立化するという事態にさえ見まわれている。

ちょうどこのようなときに、投票機械の係りとして活躍してきたリー国連事務総長が辞任したことは、きわめて象徴的である。

### 離反する第三勢力

今年のはじめ、パリの国連総会に出席中のヴィシンスキー・ソ連外相はこう皮肉っていたものだ。

"アメリカの投票機械もだいぶ狂ってきた。国連にはいまゝでとは違った動きが現われているこれは大いに注目されるべきことだ"

だがその頃は、投票機械が狂いだしたとはいっても、まだ大したことはなかった。ところが今度の総会ではこれがだれの目にもはっきり分るほどにひどくなってきた。

その最初の現れは開会第一日目に起きた。この日、ピアソン議長（カナダ外相）が特別政治委員会の委員長となったギリシヤ代表を一般運営委員会の一員に加えて投票権を与えるよう提案したのにたいして、ソ連のグロムイコ代表が議事規則の違反であると反対、採決の結果は賛成廿七票にたいして反対廿五票という予想外の接戦でしかも棄権が八票であった。このように反対や棄権が多かったのはグロムイコ代表の主張が説得力をもっていただけでなく、第三勢力の国家群がアメリカの投票機械になることをしぶったためである。

トルーマン

同様の動きは国連社会人道文化委員会におけるソ連提案の"戦争宣伝反対"に関する討議（十一月三日）にも現われている。この提案にたいしてアジア・アラブ諸国はアメリカの圧力をはねのけて賛成の側にまわり、反対廿一票に対して賛成十九票とまたしてもの接戦となった。

こうした第三勢力諸国の西欧陣営からの離反は、いまではアメリカにとって無視することのできない脅威となっている。そしてこの脅威が一つの圧力となってアメリカの行動にブレーキをかけている。たとえば開会第三日目、全世界の注目を浴びながら演壇に上ったアチソン米国務長官は、今度の総会の最大の議題と目されている朝鮮問題に関して"予想されたよりもはるかにおだやかな演説"を行わなければならなかった。それというのも、もしアメリカがこの問題で強硬な線をうちだすなら、たんに自分が孤立するだけであることを知っていたからである。

アジア・アラブ・ブロックのリーダー格インドはこういっている。"インドとしては朝鮮休戦ゆきづまりに関する国連の中国非難動議にはすべて反対する"そしてインドは独自の解決案を用意し、アメリカが投票機械に使おうとした廿一カ国の足並みを乱すほどの効果を示しはじめている。

### 紐つき援助に反対

第三勢力諸国がこのような動きを示すようになったのはどうした理由によるものであろうか。ネルヴオ前総会議長（メキシコ外相）は"各国がとっているすべての行動が戦争の脅威を前提としている空気のなかで、われわれ中小諸国に課せられている義務は国際的な仲裁役のそれでなくてはならぬ"（開会へき頭の演説）と述べ、またインドネシアのムカルト外相は"インドネシアは二大陣営のいづれにも偏しない方針で進んできているが、現状では小国は大国の具に供されることがすくなくない。したがってインドネシアは国連憲章を改訂して、中小国家に現在よりも重要な役割をになわせることを切望する"（一一・一一の総会での演説）と述べているが、問題はたんに調停者としての立場や中立意識にあるのではない。もっとも基本的なことは帝国主義支配に対する民族の反抗である。

プレヴァン

こうした民族の反抗は、国連経済財政委員会の討議（一一・八）に鋭く示された。この討議で米英仏の帝国主義諸国家は、後進国がその経済を従属させるただ一つの途は外資導入のためにもっとひろく門戸をひろげることであると主張したが、アジア・アラブ・ラテン・アメリカの各ブロックはいずれも、後進諸国に対する外国資本の法外な搾取やヒモつき援助を異口同音に攻撃している。

"後進諸国における外国資本は莫大な利潤をあげているが、後進諸国は労働者の賃金によってしか収入を得ていない"——ハイチ代表"国際諸機関によって与えられる借款には政治的ヒモがついている"——サウジ・アラビア代表。

"朝鮮戦争がはじまってから後進諸国の工業生産水準は先進国よりもはるかに低下しており、食料品の生産高などは十五年前よりも低下している"——エジプト代表。

"現在資本主義諸国はその必要とする物資を買うことができない"——パキスタン代表。"西欧のある大国は後進諸国には安定した市場がなく、物価がたえず上っているために後進諸国で買いつける原料の値段を安くさせるために強い圧力をかけている"——インドネシア代表。

もちろん後進諸国や植民地、従属国などにたいする帝国主義的搾取はけっしていまにはじまったものではないが、資本主義の全般的危機がいよいよ深まり、その逃げ道としての資本主義経済の軍事化がまた大きな困難に遭遇するにつれて、帝国主義諸国がその困難をこれらの国々の犠牲において切り抜けようとしているため、いよいよその反抗をかきたてているのである。しかも事態をもっと複雑にしているのはアメリカの帝国主義者が他の帝国主義国家の植民地に進出して、本国に対する陰謀をそそのかしたり、原料資源や販売市場の独占を企てたりしていることである。

アチソン

### 植民地で佛と対立

本国に対する陰謀はチュニジアモロッコ、エジプト、イランなどにおけるアメリカ各機関の動きからも窺われる。アメリカはこのような行動を合法化するために"植民地主義の時代は終ったのだ"と叫んでいるがその実はこれまでの植民地支配をぶちこわし、代って自分が入りこもうというだけのことでしかない。これはいや応なしにアメリカとその他の帝国主義国家との対立を激化せずにはおかない。

たとえば今度の総会でのもう一つの重要議題として注目されているチュニジヤ・モロッコの独立問題をながめてみよう。チュニジアとモロッコは北アフリカにあるフランスの保護領で、こゝにも激しい民族主義の波がおしよせているがこれを背後から支援しているのがアメリカである。北阿の解放を目指す北アフリカ自由委員会にはアメリカからも代表が参加し、チュニジア・モロッコの紛争解決にたいしても、アメリカ政府はフランスに圧力をかけている。フランス政府がこうしたアメリカの態度を快く思わないのは当然で、プレヴアン国防相は"北阿における極端な民族主義を助長することが、いかに危険であるかをフランスの友邦諸国は悟るべきである"とアメリカに対する警告的演説を行い、エリオ国民議会議長はまた"アメリカがモロッコに軍事基地を設置しているそのときに、国連でアメリカがフランスをむりやりにひきまわすようなことは慎しんでもらいたいものだ"と叫んでいる。

アメリカがチュニジア問題をフランスに対する軍事援助費の問題とからませたことはフランスの反米感情を一段とかきたて、再建ドイツ軍を中核とする欧州軍の創設に反対するフランス国内の運動の高まりとともに、米仏両国の対立をいよいよ深刻なものにしている。"世界問題に対するアメリカの指導力はフランスでもっとも退潮しており、フランス政府の要人でさえも国民の間に反米感情をうえつける手伝いをしている"——INS欧州総支配人キングスベリー・スミス。

### 反撥するイギリス

イギリスとアメリカの対立もまたけっしてこれに劣らない。両国の対立はとくにアンザス会議をめぐって尖鋭化し、ロンドンUP電は"米英関係は戦争中ルーズヴェルト大統領がチャーチル首相に対して原子力の秘密を明らかにすることを拒否して以来の重大な対立を見るであろう"とさえ報じている。問題はイギリスがアンザス会議から除外されたことに対する不満である。イギリスにとってこのようなことは極東におけるこれまでの地位を弱めるだけでなく、英帝国そのものゝ存立を脅かす重大問題なのである。

だが、アメリカはイギリスの参加をあくまでも拒否し、しかもアンザス会議をさらに拡大して太平洋軍事同盟をつくり、再建日本軍をその中核とする計画を推進している。アメリカ日本欧州におけるドイツとならんで、アジアにおける米軍事政策の支柱と目していることは周知の事実だ。日本の国連加盟をアメリカが提案したのも、国連協力の名のもとに一日も早く日本軍を再建して国連軍に編入し、アジアにたいする軍事計画の片棒をかつがせようという狙いから出ていることも一般に指摘されている通りである。しかしこうしたせっかくの計画もソ連の反対で流産になったため、アメリカはいま国連のワクの外で、つまり太平洋軍事同盟という、アメリカの表現をかりれば"地域的安全保障体制"、だが実際は侵略的軍事体制をつくりあげることによって、計画の実現をはかろうとしているのである。

アメリカは欧州でもドイツを中心とする欧州軍事条約をつくりあげることに全力をあげているが、こうした動きはもはや投票機械としての役割を果さず、逆にアメリカに反抗し、アメリカをしばろうとする国連にアメリカが恐れを抱きはじめたことを物語るものだ。しかし欧州軍条約においても太平洋軍事同盟においても、やはりアメリカは幾多の矛盾にぶつかっている。つまり、アメリカが世界支配の帝国主義政策を放棄しないかぎり、国連の内外を問わず、孤立への途をたどらざるを得ないのだ共和党が政権を担当しても同じであり、たんにこの途を一そう足ばやに進むだけのことであろう。

（社会タイムス外報部）

---

# ルール重工業とシューマン・プラン

## "緊迫"利用し独占化

大野英二

さる七月二五日に発効した「シューマン・プラン」は西欧統合軍創設を企図する「プレヴェン・プラン」の経済的基盤をなすものとして、高度に政治的・軍事的な性格を帯びている。しかしながら、その内実をみれば、一九二六年に成立した「国際鉄鋼カルテル」が国家協定の形態をまとって再現されたものにほかならずこのプランへ参加した諸国の間での、また非参加国との利害の対立は不可避である。だから、シューマン・プランのとる現実的コースとし、むしろ問題は二つの体制の間の、また資本主義国の間のテンションを利用しながら、ルール独占資本の西欧における支配的地位の再建を生み出し、このカルテルの主人公にのし上る可能性のあることにあろう。ルール独占資本の復活は西ドイツの帝国主義的再建を招来する基礎となるからである。

ルールは戦前、ドイツの石炭＝鉄鋼生産力の八〇％を占めていただけでなく、独占的結合によりザールを支配し、さらにアルサス・ローレンス鉄鋼業への石炭の供給源であった。イギリス占領地区におかれたルールの生産力の比重は別表の示すように、さらに、石炭＝鉄鋼業と縦断的に結合する機械・化学部門をも包摂しており、約一〇のコンツェルンにより支配されていた。このコンツェルンの内部構造を理解するためには、その資本集中史をふりかえってみる必要がある。

ドイツ産業革命の心臓として石炭＝鉄鋼業の結集していたルールの資本集中の起点は一八七三年の恐慌にあった。さしあたり、石炭業と鉄鋼業とはそれぞれ別個に資本集中を展開していた。が製鉄所が炭坑を、炭坑が製鉄所を包摂し、縦断的結合の所産としていわゆる「混合企業」の発生をみるにいたり、資本集中は新しい様相をおびてきた。一八九三年の「ライン・ヴェストファーレン石炭シンジケート」の成立は、ドイツ石炭＝鉄鋼業集中史上の重要な境界石をなすものであるが、その特質は「単純炭坑」と「混合企業」との対立、すなわち「石炭と鉄との対立」にあった。さらに一九〇三年に、その翌年に成立する「製鋼連合」を顧慮して、行われたこのシンジケートの改組は、「石炭と鉄との利害の癒着」を特徴とし、従来の「石炭」の主導的役割にたいする「鉄の勝利」を意味した。すなわち、「石炭」における資本集中と「鉄」における資本集中との交錯から生れたルールの大混合鉄企業の勝利をあらわしていた。こゝに確立する独占企業は、炭坑、製鉄所、機械工場を縦断的に結合するだけではなく、輸送会社、販売機構、住宅会社、などを一丸とするコンツェルンを形成した。第一次大戦後、電気工業化学工業などとの結合により、縦断的結合はさらに強化されるが、第一次大戦前に成立した基本構造は、ナチス敗戦にいたるまで貫いており、西欧占領国の「経済力集中排除」の対象となったのである。

第二次大戦後、ドイツの工業生産力の四占領地区への分布百分比概要

| | ソ連 | 英国 | 米国 | 仏国 |
|---|---|---|---|---|
| 鉄鋼 | 18 | 70 | — | — |
| 石炭 | 16 | 80 | — | — |
| 機械 | 32.5 | 32.5 | 25 | 10 |
| 化学 | 32.5 | 32.5 | 25 | 10 |
| 織維 | 40 | 25 | 15 | 10 |
| 合計 | 30 | 35 | 25 | 10 |

（Allen, world monopoly and peaceより, 1946 P36—37）

西ドイツ政府を支配するルールの銀行家や商業家は、ボン政府に実行の責任が負わされていた「解体措置」を失敗に終らせるために、暗躍したことはいうまでもない。「たとえばイー・ゲー・コンツェルン」と並びドイツ最大の独占企業「合同製鋼」（Vereinigte Stahlwerke）の前重役レーアとレンシェ。クルップの従兄ボーレン。あるいはさらに、東ドイツからの亡命者ボルシヒ＝オーベル・シュレジェンの石炭＝鉄鋼業からベルリンの機械工業へ連繋するコンツェルンの支配者であり、ドイツ最大の機関車製造業者であった周知の人物。等々の名が見出される。

五一年に西欧連合国の指示したルール重工業解体プランは、ルール石炭＝鉄鋼業の資集本中の基軸となす縦断的結合を禁止し、零細企業単位へ分割するともに、石炭、鉄鋼のカルテルを否定して販売組織をも切断するという骨子をもっていた。かくして、シューマン・プランをばルール重工業再建の基盤と讃美してきた西ドイツ政府はたちまち、ルール重工業を永久に跛行化せしめてフランス重工業の桎梏のもとにおくための道具にほかならないと痛感しはじめた。

「西欧総合軍」の生産的基盤としてルール重工業を利用する必要にせまられて西欧連合国はシューマンプランへの西ドイツの参加と引き換えにドイツ工業制限を緩和しルール重工業に加えられてきた制限の大部分を撤廃することを認めざるをえなかった。新しいルール再編案によれば、石炭鉄鋼業の従来の一〇大混合企業は二八社に分割されることゝとなった。が、ルール重工業の潜在工業生産力を発展せしめるために必要なだけの「企業合同の経済」が確認されているのだから、ルールが以前の集中体制へ回帰することは時間の問題であろう。（京大経済学部助教授）

---

## 五分間メモ

### （恩赦）

立太子の礼を機会に政府は特赦および特別減刑を決定した。当初政府は衆院選挙違反者を含む大幅な大赦を計画したが、強硬な世論の反撃にあって、特赦に切換えざるをえなくなった。恩赦は大赦、特赦、減刑、刑の執行の免除および復権を決定することを総称する。大赦は裁判が確定したものを赦免し、確定していないものについては公訴権を消滅させる。これでは起訴されていない選挙違反者も赦免の対象となり、政治的すぎるとの非難でとりやめた。特赦は刑の確定したものを対象とし、減刑は政令に特別の定めのある場合を除いては刑を軽減する。復権は有罪の言渡しを受けたため、喪失し、停止せられた資格選挙権などを回復することをいう。恩赦を決定するものは内閣（憲法七三条）で、天皇は内閣の決定した恩赦を認証する。

こんどの恩赦では特赦と減刑を行うが、その対象となるのは十一月十日以前に罪を犯し、同日前に裁判が確定したもので、さきに講和恩赦もあり、恩赦に浴するものは三万五千から最高十万名が予想される。この中には刑の確定した例は一件もない。今回の選挙違反事件は当然含まれないことになり、一応公明選挙に大きく一役買った世論の勝利といえるだろう。

---

# 文北祭を語る

## 主催者座談会

秋季文化祭も四日間の幕を閉じた。全学自治組織のない中で、文化祭を盛大に催すために、それぞれの立場で非常な活躍をした人々—文化祭準備委員長中岡君、京大ディスク・サークル猪野君、児童文化研究会吉田君、松井ゼミ北村君、ソ同盟研究会舛形君—に文化祭の問題についていろ〳〵語ってもらった。（編集部）

**司会**　まず、準備のことから……

**中岡**　予算のことについて井上学生部長と柴田学生課長の意見が全然違うので、一体本当の所、どれだけ出してくれるのかわからずそのため大変な時間のロスだった。大体、学生部長の希望的観測をたよっていたのが失敗だが。

**猪野**　実際、大学との交渉はやゝこしい。準備金は展示会関係、音楽関係、映画・演劇関係の三グループに分れて交渉に当ったのだがちっぽけなことに、何度もかけ合わなくてはならず、自然、関係者の召集が間に合わず、最後の方では、役員だけの個人プレイとならざるをえなかかった。

**吉田**　大学の態度がはっきりしないから準備が遅いんだ。

**舛形**　紙などは間に合ったが、材木が前日になっても貰えず困りましたよ。

**中岡**　材木をとりに行ったら、すでに予算を一万円超過したから、材木は渡せないという。課長は、面子にかけても渡すなと学生課員にいって病気で休んでしまった。交渉のしようがないし困ったね。

**猪野**　学生課長の態度も問題だがもっと上の学長とか、評議会とかそんな所がうるさいんでしょう。学生課は金をもっていないから、偉そうなことがいえない。会計課がやかましいのでね。この複雑な官僚機構を何とかしなければと思います。

**司会**　文化祭の内容について、子供文化祭の方から……。

**吉田**　ぼくらの児童文化研究会では、大学に子供たちを招いて愉しませようということで、京都の子供を守る会の啓蒙運動もかねてやったんですが、連絡がまずくて中々成功というところまでは行かなかった。しかし子供を守る運動の出発点としては上々ではなかったかと思っていています。

**司会**　あの会場で四、五人子供を集めて聞いたんですが、みんなずい分しっかりしていますね。子供会は皆んなが明るく朗らかに、平和な暮しをするようになるんだとかね。びっくりしましたよ。

**吉田**　全部がそうじゃないでしょうが、平和を教えられている子供会も大分ありますね。ぼくらは平和を守ることが子供を守ることだと考えていますが。

### 欲しい全学自治会

#### 興業化したサークル活動

**司会**　展示会は内容が充実していると好評でしたね。

**北村**　中日貿易展は京都の中小企業の積極的な要望や協力があったのですが、大急ぎの準備で徹夜なんかをやったりして、さて文化祭の当日には、のびてしまって、お蔭で日中貿易促進の署名も余り集まりませんでした。

**舛形**　ソ研では社会主義革命三十五周年記念と重なって、一週間ぶっ続けで準備したが、やっぱりまとまりのない寄せ集めですね。どの展示会にしても、効果を上げるのにまだまだ工夫があると思います。

**北村**　何故生活が苦しいのか、失業は何故起るのか、どうすれば豊かな暮しになるのかを、市大のアジア展のようにやろうとしたのですが、文字が多くなる。言葉が固すぎる。絵はまずい……で苦労しました。

**中岡**　花山天文台の解放、医学部の解剖、教育心理実験のように興味と啓蒙をかねてやることは大切で、たゞ展示するだけでは駄目ですね。

**吉田**　西山先生がいっておられたように、さっと見ていくだけでもよくわかるように大見出し、中見出し、小見出しと三段構えにするのも一方法でしょう。

**司会**　ディスクの全学音楽祭の方から何か一つ。

**猪野**　学内のかくれた音楽家に発表のチャンスを与え、また音楽の啓蒙のためにも劃期的な催しではなかったと思っており、これからも定期的にやれたらと考えています。

**北村**　文化祭についての学生の基本的な認識なんですがね。文化祭はやりたいものがやって、他の者は見物しようと娯楽しようと勝手だというのが多いと思うのですが

**中岡**　それも問題ですが、ぼくは文化祭について二つの大きな問題となる現象があると思うんです。その一つは文化祭になると誕生し文化祭が終ると消えてしまう団体が多いのですが、これは予算がないので平常は活動するにもしようがない。日常活動の総決算が文化祭なのに、たんなる一時的な発表期になっている。それから、もう一つの問題は、ほとんどの団体が興行団体になっていることです。

**舛形**　この間、木原助教授の所へ資料を借りに行ったら、今から来年の準備をするようでなければ駄目だといわれて考えこんでしまったんです。

**吉田**　文化祭といっても、学内は一向にお祭り気分らしくない。昔は分校では各級の演芸会があったし、教授も参加して賑やかだったが、とにかく、わさびをきかした馬鹿騒ぎが欲しいですね。

**一同**　そうですね。

**司会**　じゃあ、最後に文化祭を通じて痛切に感じられたことを。

**猪野**　よく先生方は補導ということをいわれるのだが、はたしてどれだけの先生が、文化祭に参加されたか疑問に思うのです。もし、親しく参加して展示会を見、音楽会を聴かれたらきっと予算の不足や、大ホールなど設備の改善のことも考えて下さるようになるだろうと思うんです。

**舛形**　しっかりした全学自治組織が欲しいですね。

**北村**　ぼくはゼミやサークルの全学的な連絡があったらと思う。

**吉田**　これは、小さなことかも知れませんが、いわゆる京都時間という悪いくせがなかったら、文化祭も今よりはるかにスムースに行っていたんではないだろうか。若いわれわれの間からだけでもこの悪習を追放すべきですよ。

**中岡**　学生部委員会の見識の低さにまったく失望しました。

**司会**　ではこの辺で…どうもありがとうございました。

---

ベル

ベル欄投稿歓迎☆字数八百字以内☆住所職業明記、紙上匿名可

### 見せもの自治会

去る十四日、吉田分校のファイヤーストームに参加して実に奇妙な風景に遭遇した。学生も一応集りまがりなりにも三高寮歌などうたってファイヤーストームらしい雰囲気になったとき、スピーカーから何ともあどけない音楽が流れ出して、京都YMCAか何かのスクエアーダンスが始まったのである。何のためにこんなところでスクエアーダンスをやらなければならないのか判断に苦しんでいる間に自治委員がしきりに学生にむかってダンスをしましょうと呼びかけながら、誰も出てこないので、しかたなく自分で模範を示したりしていたが、やがて背筋がこそばゆくなったような感じの声が、方々から「止めろ、止めろ」と怒鳴りはじめた。すると今度は当のYMCAが怒ってしまって「君たちは何ですか」などと色をなし、ついに弥次の飛び交う中を憤然と退場してしまったのである。私はこれを見ていてスクエアーダンスなどをこんなところで踊る奴の気がしれぬと思う一方、YMCAの人の怒ったのも実に当然のことだと思い、両方に何の悪意もないのに両方ともあまり愉快でない思いをしたということについて考えさせられてしまった。結局私はこんなささやかなトラブルが起って皆が妙な感じを抱いたというのは、誰の悪意でもなく一にかかって自治委員のものの考え方の幼さなさにあると思うのである。自治委員諸君がしたくもないダンスを衆目にさらして滑稽なおどけもののようになっていた姿が、そのままカラ廻りしている吉田自治会の現状を象徴しているのではなかろうか。（経二回生、国枝誠）

コンパ会場がすっかり新になりました
70名までの大広間完成
百万遍唯一ネオン花咲く
全費100エンから
肉すきコンパは是非
Tel 吉田1914　アジア

パルと玉
クラス会10人より ￥100以上 席料サービス
合成興
百万辺電停前電吉3233番
喫茶と洋食

Jazz concert
30日（昼）
渡辺晋とシックスジョーズ★中沢寿士楽団
ボス宮崎とコニーアイランダーズ
★シンフォニーエッタ
歌 ペギー葉山 特別出演★ 共演
於 ヤサカ会館
会員券￥150
30日（夜）
美松会館7年祭記念
大音楽舞踏会 開催
コンサート出場楽団 総出演
29日（夜）前夜祭
ALL NIGHT
深夜3時迄入場できます
キャバレー 美松

祝御卒業
京都洋服企業組合
新しい社会への第一歩は正しいスタイルの服装店
大見洋服店　吉田下大路町二〇　電話吉田一四二八
若葉屋洋服店　吉田本町一　電話吉田三六六三
ヤナガワ洋服店　吉田下大路二三　電話吉田一八六八
中村洋服店　吉田二本松町　電話吉田二一七一
内山洋服店　吉田泉殿町四五　電話吉田〇三六一
茶谷洋服店　吉田本町二七　電話吉田四四九〇
ユアサ洋服店　丸太町府庁前西　電話上局一六七〇
当組合加入店
定評ある
吉田の老舗

日本一の秋の名所で、楽しい紅葉の賀
紅葉（もみじ）は
全山万紅の滝と渓谷
みのお
秋の日本の代表的風景
嵐山
全山紅葉！お寒くならないうちにお揃いで、お早くお出掛け下さい
阪急電車

東宝
総天然色
堂々二時間半！空前のスケールで繰りひろげられる恋と冒険！
征服への道
「狐の王子」のタイロン・パワー　ジーン・ピータース主演
絶讃上映中
廿世紀ボックス
セールスマンの死
鬼才スタンリイ・クレイマーが満々たる野心で放つ本年度最新最高の問題作
次週30日公開決定！
京都寶塚劇場

結核に
副作用の点も著しい不安は無い、又ストマイ耐性菌にも有効である等々……
イスコチンの真価に就いての報告が段々増えて来ました。
熱・せき・たん・食慾・体重・血沈等も短期間に好転することは御承知の通りです。
（医師の指示により御使用下さい）
第一製薬のイソニコチン酸ヒドラジド
イスコチン
（50mg）50錠 100錠 500錠 1000錠　末 5瓦 25瓦 100瓦
第一製薬　東京中央区日本橋・大阪・福岡

フジサワ
かの様にの哲学
Philosophie des Als Ob
人は鉛筆で点を打ち　点であるかの様にいうが　よく見給え　それは黒鉛と粘土の堆積である　また彼を罪人であるかの様にいう　が　よく調べ給え　その罪は祖先より遺伝された彼の血統が犯したものである　又更に胸さえ悪くなければ大丈夫であるかの様にいう　が　日本人の80％が回虫を持っているから　元気に見えても回虫を持っている人は非常に多い　それ故駆虫を怠っている人は　いつ回虫の禍を蒙るかも知れない　転ばぬ先にマクニンSをおすすめする所以。
マクニンと輸入サントニンの合剤　マクニンS
藤沢薬品

Gone to Earth

奔放な野性の乙女が辿る本能と純愛の宿命
英色彩映画の巨匠が贈る映画の新しき頁……
ジェニファ・ジョーンズ主演☆マイクル・パウエルとエメリック・プレスバーガー監督☆
本能の趣くまゝに、心は心、からだはからだ！うづくような愛欲の歓楽に酔いたゞれるかと思えば、野に咲く白百合のごとく清浄な乙女にたちかえるヘイゼル……獣性か天使か哀しきは女の本能！
ロンドン・フィルム作品　東和映画配給
総天然色
女狐
SY 京映
待望29日より大公開！
TOWA EIGA・TOWA EIGA・TOWA EIGA・TOWA EIGA・TOWA EIGA